

(別紙1) カリキュラム予定

時間	科目	研修内容		担当講師
13:30~13:40	開講式			—
13:40~14:10	I 目的	ねらい	認知症の人の視点で、認知症ケアに求められていることを理解する	埼玉精神神経 センター 丸木雄一先生
		到達 目標	1 研修の目的を理解する 2 認知症の人の視点で、対応への課題を理解する 3 認知症の人を取り巻く施策等について理解する	
		主な 内容	<ul style="list-style-type: none"> 入院する認知症の人に起こっていること 認知症の人の将来推計 認知症に関連する国の施策（研修の背景） 一般病院での認知症対応のための体制整備の要点 	
14:10~14:20	休憩			—
14:20~15:30	II 対応力	ねらい	疾患を理解し、入院中の対応の基本を習得する。	埼玉精神神経 センター 榮子伸子先生
		到達 目標	1 疾患の特徴を理解する 2 入院生活における認知症の人の行動の特徴を理解し、対応方法について習得する 3 各専門職の役割と院内連携について理解する	
		主な 内容	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の病型、症状、経過 治療薬と薬物以外の療法とケア 介護者への支援・認知症の人の理解・認知症ケアの基本 行動・心理症状（BPSD）への対応・せん妄への対応 各医療従事者の基本的な役割と院内連携上の役割 	
15:30~15:40	休憩			—
15:40~16:20	III 連携等	ねらい	院内・院外の多職種連携の意義を理解する	埼玉精神神経 センター 丸木雄一先生
		到達 目標	1 多職種連携の意義とメリットを理解する 2 院内・院外で多職種連携する必要性について理解する 3 多職種で行うカンファレンスの要点を理解する	
		主な 内容	<ul style="list-style-type: none"> 多職種連携のメリット 入院前、退院後も含めた多職種・他機関連携 多職種で行うカンファレンス 入院時・退院時カンファレンスの主な検討課題 	
16:20~16:30	休憩			—
16:30~17:50	IV 演習	目的・ 意義	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の困難事例やせん妄の事例を通して、チームで解決する方法を考える さまざまなBPSDに対して、薬物療法だけでなく、ケアや対応、非薬物療法を検討する 演習を通じ、病院での認知症の課題をチームで解決することを学ぶ 	埼玉精神神経 センター 榮子伸子先生
17:50~18:00	事務局から案内			—